継続的展開ができるよう工夫した。

(3) 指導計画の改善・充実

充実した活動ができるよう、次の事項について改善・充実を図った。

①短学活の効果的な活用と工夫

②副読本の活用を図り、学年ごとに学級ノートを準備し、各人ごとに自己理解ファイルを用意した。

③学級指導連絡板と進路コーナ設置

(4) 進路学習ルームの設置

(5) 指導過程の改善と授業研究の充実

①7段階による学級指導の展開

②わかる授業の工夫と実践

③教師中心の授業から、生徒の活動を重視した授業への転換

④生徒の発達段階を考慮し、各研究部、他領域、各教科との関連の重視

学級指導部では、特に生徒の自己決定、自己指導ができるよう、全校体制で取り組んだ。

情報資料部

1 研究のねらい

時代の進展が激しい今日、社会生活の認識や経験が浅く、自己の将来の生き方に明確な見通しを持てない生徒が進学や就職、生き方について、正しい判断力を備えるためには、適切な進路情報の提供が必要とされる。正確な情報提供と活用により、生徒の進路意識が高まり、自己の将来の進路選択・決定の能力も育ち、自己実現をめざすことになるだろう。そのような生徒を情

表1　学年発達段階と各研究分野部との関連

学年段階 / 研究部	第一学年部会 1 進路への関心 年（何をしたいか）	第二学年部会 2 進路の明確化・吟味 年（何ができるか）	第三学年部会 3 進路の選択・決定 年（何をしたらよいか）
進路の目標	自分の将来への関心を高め実際に進路の希望や計画をもつようになるとともに、その実現のために自己理解や自己伸長に努めようとする生徒に育てる。	自分の特色と進路の情報を理解して、いっそう明確な進路の希望や計画をもつようになるとともに自分自身でその計画を吟味し実現しようとする生徒に育てる。	自分の特色や希望する進路の情報を確めて、自分にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路において適応し向上してゆける能力をもつ生徒に育てる。
学級指導部	○進路の計画をたてる。 ・自分を知る 自分の特性を理解する方法を知る。 ・性格・行動・体力・学力 ・諸検査・自己分析表　等 七つのステップ ①なりたい（意思、希望） ②なんのために（目的、理由） ③なるには（方法、コース）	○進路計画の検討と修正 ・自分をもっとよく知る （みつめる） 職業との関係から分析し能力の伸長を図り、自己を深く理解する。 ④なれるか（可能性確認） ⑤なるべきか（生きがい検討）	○卒業時の進路決定 ・自分について総合的にまとめる。 自己の能力や特性を知り、総合的に自己理解をする。 職業観、人生観をもち自己実現をめざす。 ⑥なろう（意志、努力） ⑦なる（実現、適応）
情報資料部	基礎的な自己理解や身近な進路情報などの学習を通して、将来の生活や職業の意義を考えさせる。	職業に対する知識や理解を深めるとともに、それとの関連において上級学校の仕組みや特色について理解させる。	自己に関する総合理解とともに進学や就職についての具体的手続きを理解させ、そのための準備を行わせ、さらに将来の生活における心がまえを学ばせる。
進路相談部	○将来の進路への関心を高める 将来の希望などを語り合い進路への関心を高める。 個性の理解、学校生活への適応、希望実現のために、自己の特色をどのように伸ばしたらよいか。 進路計画のたて方や学習の進め方について話し合う。	○将来の進路の明確化を図り吟味する。 一年生の学習をもとに、自己の特性についての理解をさらに深め、将来の進路との結びつきのもとに自己を高める将来の進路や職業について学び、調査、自己観察、教師観察の結果等を活用しながら、相談をすすめる。 必要により進路計画改善への援助をする。	○進路の選択と卒業後の生活における適応と発展の能力や態度を向上させる。 進路に関する情報を収集、整理しながら、調査、検査等の結果を正しく理解し、家庭環境や希望達成の可能性等を考慮しながら主体的に進路選択ができるよう自己を整理、充実、拡大し進学観、職業観をもたせる。
教科・生徒活動部	中学校生活を自主的に生活できるようにし、自己をよく理解すると同時に進路への関心を高め、自己の進路を計画しようとする態度を養う。	自己理解を深め、学校生活を体験的に通して、価値観を一層深め、的確な進路選択ができるようになると同時に、自ら進路計画をたてられる態度を養う。	自己の特性を知り、できるだけ客観的に理解でき、希望する進路の情報やふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路において適応し向上していける態度を養う。
保護者研修部	・子どもの進路と親のあり方 ・子どもの個性の理解と伸長 進路指導について理解し、親としてわが子の将来に関心をもち、さらに能力や適性の知ることの大切さや希望方向は子どもに向いているか。親としてどうしたらよいかを考える。	・いろいろな進路 職業や進学についての各種情報を知り親としての視野を広める。 子どもの能力、適性等を理解したうえで、親としてどのように援助したらよいか考える。 ・望ましい進路希望とその育て方 ・進路のコースと希望の確かめ	・子どもの個性と進路 ・進路選択のための各種情報 ・子どもの進路の決めさせ方 ・卒業後の生活への適応 進路の決定をひかえ、わが子を正しく理解し、進路選択に親の立場より実際に援助する親の役割の重要さを自覚し、進学、就職の決定後におこりがちが問題や内容について理解し心がまえをつくる。

指導・援助　自分を正しく見つめ　生きがいのある　自己実現をめざそう

主題名	自分を知る	将来の希望	身近な職業	職業の世界	学ぶこと	働くこと	いろいろな教育機関	自分を知る	進路の計画	自己理解	進路情報の入手	進路の決定	進路に対する条件	整備	将来への展望	自己表現
進路指導の総時数 43時	12時						17時								14時	